

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 102

## 可愛くて楽しい高視認性安全服の報告です…



11月29日に東京都渋谷区にある（東京都庁のすぐ近くにあるので新宿区と思っていましたが・・・）文化服装学院で“子ども・児童向け高視認性安全服 制作発表最終審査”が開催されました。内容はと言いますとファッション性のある子ども服に高視認性機能を取り入れた作品を生徒さんたちが企画デザイン制作したものをコンテスト形式で発表会を行ったということなのです。最終審査会までにテレビの取材や新聞社の取材などのマスコミにも取り上げられる規模になりました。今回の思いつきラボは文化服装学院とニッセンケンで企画した“子ども・児童向け高視認性安全服”の報告原稿となります。

### 企画のはじまり

当初はこれほどの規模になるとは考えてもみなかったことなのですが今年の5月にファッション工科基礎科1年生のカリキュラムに“子ども服の安全性”をテーマにした授業を予定して当社が講話を担当したことに始まります。テーマの内容は

- ・子ども服のひもの安全性（JIS L 4129）
- ・有害物質に対する安全性（エコテックス国際規格）
- ・高視認性安全服（JIS T 8127）（JATRAS 団体規格）

を取り上げた講義になりました。この中で“高視認性安全服”を考慮した子ども服の自主制作ができないかという企画が持ち上がり蛍光生地や再帰性反射材の手配をニッセンケンが制作指導を文化服装学院がというコラボ企画が進められることになりました。4月に入学したばかりの生徒たちにいきなり高視認性機能を備えた子ども服は難易度が高いので可愛い子ども服のデザインの中に蛍光生地と再帰性反射材を少しでも取り入れた作品をとということで参加チームを募集することになりました。とはいってものパターン作成縫製の経験も少ない生徒も多いので工科基礎科が5クラスあるので各クラス1～2チームの参加で10チームくらい集まればという期待での取り組み開始となりました。

7月4日にデザイン企画のプレゼンテーションを実施したのですが予想に反してなんと29チーム103名の参加となりました。筆者が講話を担当したのが5月19日だったので短い時間での準備となりました。この時点で驚いたのが近くの警察署に行ったり子どもの事故に関する調査や保育園のお母さん方に子ども服の嗜好性の調査を行ったり市場調査にも取り組んだチームが多くありました。これほどの参加があったので大事な取り組みと捉えて今度は11月2日～4日の文化祭に展示して一般来場者にも投票してもらい

さらに人気の高かった作品と先生方の評価で 15 点に絞ったものをコンテスト形式で審査会を行う計画となりました。こうして 11 月 29 日に最終審査会が開催されて優秀作品が選ばれることになりました。新聞にも優秀作品が掲載されて盛り上がりのあるコラボ企画となりました。

「安全性」「ファッション性」「着たくなる・着せたくなる」等の項目で審査が行われました。受賞した作品はもちろんですが 全ての作品にそれぞれのコンセプトや子どもへの安全性を考えての制作になっています。可愛い子ども服に少しでも安全性を備えていれば子どもたちの交通事故も減少していくことにつながります。筆者としてもずっと高視認性安全服にかかわっていますがこれほど楽しい企画はありませんでした。これからもこのような取り組みには積極的に参加したいと思っております。せっかくなので参加作品すべてを画像紹介いたします。画像をたくさん掲載したいので原稿はここまでとします。

原稿担当：竹中 直（チヨク）

### 文化服装学院×ニッセンケン コラボ関係団体

- ・（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
- ・（一財）日本交通安全教育普及協会
- ・（一社）日本高視認性安全服研究所
- ・東レ（株）機能製品事業部
- ・（学校法人）文化学園 文化服装学院
- ・（一財）ニッセンケン品質評価センター

### 第 1 位作品



←1位の作品には  
ディズニーランド1日パスポート券  
が授与されました



参加賞にはバッグを贈呈 →  
デザイン：  
ニッセンケン東京事業所 本木ちはる







文化祭での展示全体像です



←参加賞のバッグ デザイン違い  
僕たちは来年もひつじ年です